イナハ"自転車置場

BP-24V/28V型(連棟用) 組立説明書

このたびは、イナバ自転車置場をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。 私たちは、この製品の開発にあたって「良いものを安く」をモットーに、苦心して作り上げました。 どうぞ末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

組立にあたっての注意事項

はじめに

ここに記載してある事柄は、人や物に対して危害・損害を未然に防止し、製品をより安全かつ正しく 組立てて頂く為のものです。

施工方法・納まりについて

組立説明書の基礎・転倒防止工事(アンカー工事)については標準的施工方法とします。 組立説明書と異なる施工を行う場合は、予め当社にご相談ください。

設置場所の注意点!

- 1. 崖の縁や屋上など、安全が確認出来ない場所には設置しないでください。
 - 愛 強風により転倒、落下の危険があります。
- 2. 大屋根からのまとまった雨水・雪が直接屋根や壁に落ちる場所への設置は避けてください。
 - ☞ 雨もりの原因になったり、変形・破損により収納物に被害を与えます。
- 3. 非難経路等の通路を妨げる場所には設置しないでください。
 - ず 非常時に非難通路として使用できなくなります。
- 4. 軟弱な地盤や寒冷地等は地域の実情に合わせた基礎にしてください。

組立する前に!

- 1. 風の強い日の組立は避けてください。
 - ☞ 強風のため部材が飛んでケガをしたり、部材の転倒による破損原因になります。
- 2. ユーザーの組立はなるべく2人以上で行ってください。
 - ☞ 一人で無理をされると、部材の転倒・落下によるケガの原因になります。
- 3. 30kg以上の梱包や部材の運搬は、2人以上で行ってください。
 - ☞ ケガをしたり腰を痛める原因になります。
- 77307MBICA 700

組立の注意点!

- 1. 土間工事まで含めた転倒防止工事を必ず行ってください。
 - ☞ 転倒防止工事がされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故や死亡事故につながります。 また、収納物に被害を与えます。
- 2. 組立中は部材の転倒防止のために、つっかい棒やロープなどをお使いください。
 - 組み付け時の部材の落下や突風による部材の転倒により、ケガをしたり部材の破損につながります。
- 3. 組立途中で放置しないでください。
 - ☞ 強風などにより部材が飛散・転倒してケガをしたり、部材の破損につながります。
- 4. 電気配線および改造などをご希望の場合は、専門業者にご相談ください。
 - ゅ みだりに改造すると、ケガや死亡事故につながります。
- 5. 組立後、ボルト・金具類の付け忘れやゆるみがないかご確認ください。
 - ☞ 製品本来の強度が確保出来なくなります。

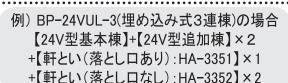
MB 機和葉製作所

■梱包別部品一覧表

- ●イナバ自転車置場BP-24V(28V)型連棟用の部品箱数は、24V型:「9×N+3」梱包、28V型:「9×N+4」梱包(N:連棟数)で下記の部品が入っております。 個数と内容をご確認のうえ、組立順序に従って組み立ててください。
- ●品番が白抜番号の部品には、製造番号が打ってあります。組立の時万一不具合が生じた場合は、必ずその部品の製造番号を確認のうえご連絡ください。











設置棟数により下記の軒とい セットを選んでください。 (落とし□あり) HA-3351×必要数 岡部 品 名数量 軒とい(単体用) 1 軒といアタッチ60型 1 止 り 2 立といゆ6001=20001 1 ストレートジョイナー 1 丸エルボ80° 1 丸サドルゆ60型 2 接 着 剤 1 軒とい 繋 ぎ 1

必要となります。

※3スパン毎に軒といの落とし口が

(落とし口なし) HA-3352×必要数 品番部 品 名数量 軒とい(連棟用) 1 軒 継 手 1 接 着 剤 1

例) BP-28PL-5(プレート式5連棟)の場合 【28型基本棟】+【28型追加棟】×4 +【軒とい(落とし口あり):HA-3351】×2

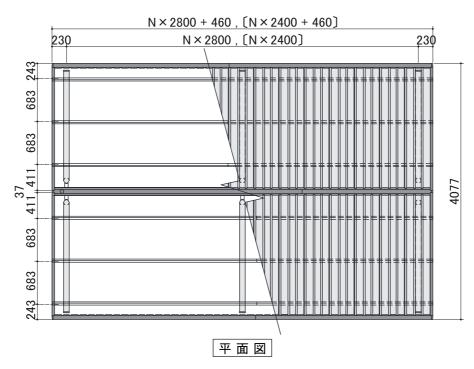
+【軒とい(落とし口なし):HA-3352】×3

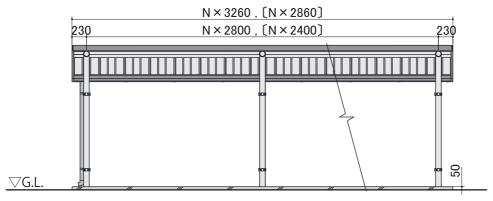
外形図 ~-般型~ <縮尺> S=1/60

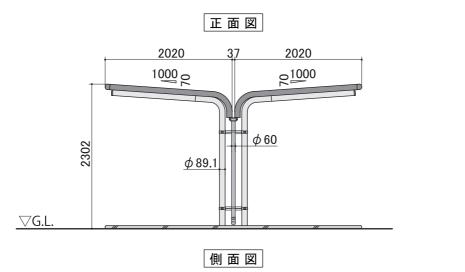
機種名:BP-28V_{連棟型},[BP-24V_{連棟型}]

- 間口寸法は柱芯寸法です。
- N は、連棟数を示します。● []内寸法は、BP-24V型を示します。

部材名	サイズ	材質
柱	t4.2 × φ89.1	亜鉛めっき鋼管(Y12)
梁	t4.2 × φ89.1	亜鉛めっき鋼管(Y12)
母屋	t1.6 × 70 × 30	亜鉛めっき鋼鈑(F12)
屋根パネル	t0.5	亜鉛めっき鋼鈑(Y10)
妻板	t0.7	亜鉛めっき鋼鈑(Y10)
鼻隠し	t0.7	亜鉛めっき鋼鈑(Y10)
柱連結金具	t2.3	亜鉛めっき鋼鈑(F12)
軒とい	119 × 52	塩化ビニル樹脂
立とい	ϕ 60	ASA樹脂





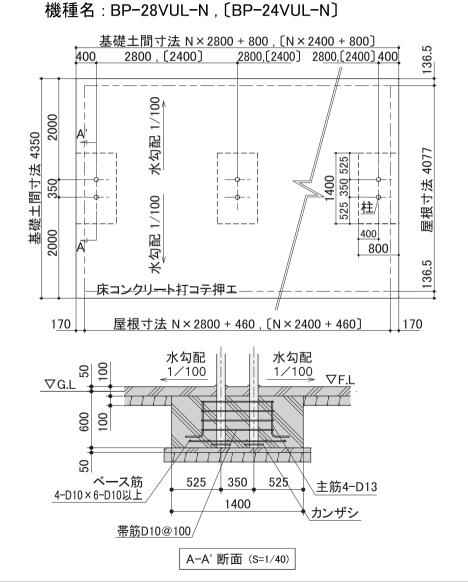


基礎図 ~-般型~ <縮尺> S=1/75

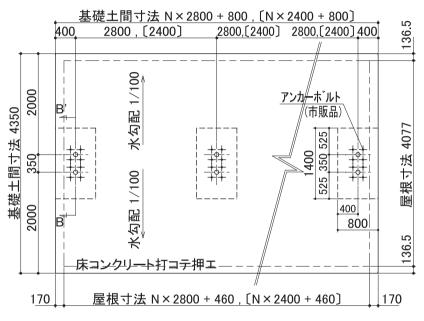
- 間口寸法は柱芯寸法です。
- []内寸法は、BP-24V型を示します。
- 寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にしてください。

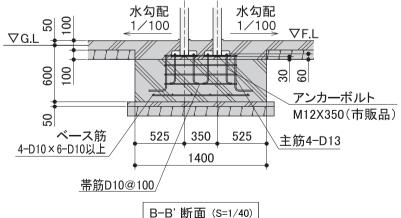
プレート方式

機種名:BP-28VPL-N,[BP-24VPL-N]



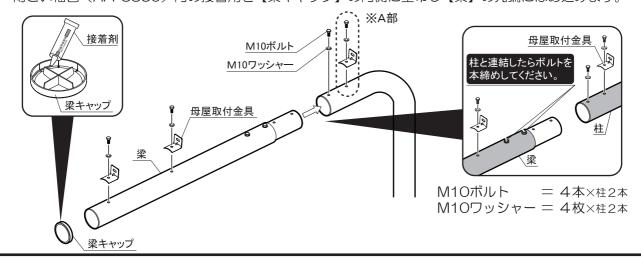
埋め込み方式





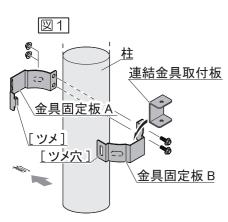
1. 柱 • 梁 • 母屋取付金具 取付

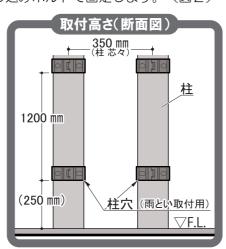
【梁】を【柱】に差し込み、M10ボルトとワッシャーで固定します。※A部は、【母屋取付金具】と共締めします。次に【母屋取付金具】を【梁】の前部2ヶ所にM10ボルトとワッシャーで固定します。 雨とい梱包(HA-3350)内の接着剤を【梁キャップ】の内側に塗布し【梁】の先端にはめ込みます。

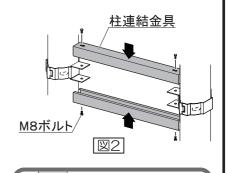


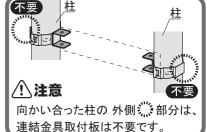
2. 金具固定板・連結金具取付板・柱連結金具の取付

【金具固定板Aのツメを金具固定板Bのツメ穴に引っ掛けます。 連結金具取付板を柱と金具固定板の間に挟むようにM6×18ボルト・ ナットで固定します。(図1)【取付位置(上下2ヶ所)は下図参照】 次に、柱連結金具を上・下から差し込みボルトで固定します。(図2)







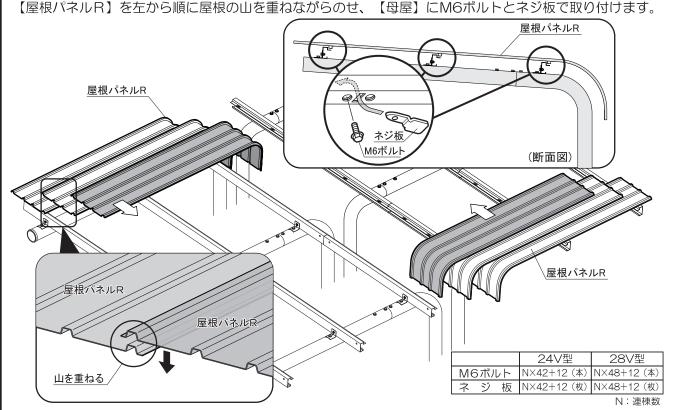


3. 母屋 取付

※ 組み付けの際は、図中に記載されている①・②の順序で行ってください。 【母屋(単体用)】に【母屋(連棟用)】を差込み、M8ボルト・ワッシャーで固定します。

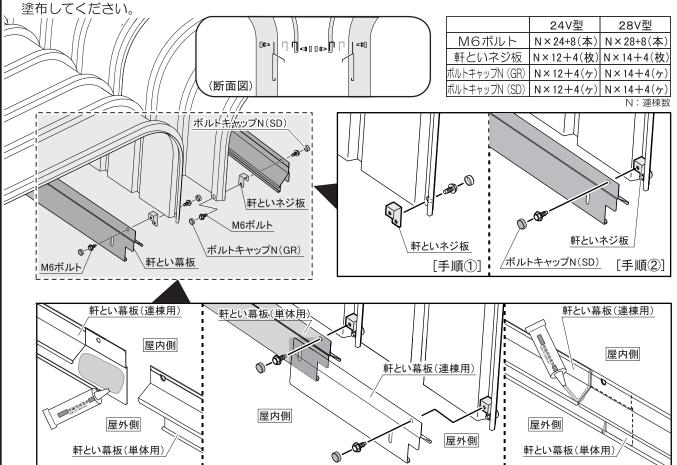
4. 屋根パネル 取付

※ 組み付けの際は、図中に記載されている順序で行ってください。



5. 軒とい幕板 取付

【軒といネジ板】をM6ボルトで取り付け、ボルトキャップN(GR)をはめます[手順①]。 次に、【軒とい幕板】をM6ボルトで固定し、ボルトキャップN(SD)をはめます[手順②]。 連結部は【軒とい幕板 単体用】に接着剤を塗布し、【軒とい幕板 連棟用】を貼りあわせてください。 M6ボルトで共締めし、ボルトキャップN(SD)をはめます。【軒とい幕板】の連結部に接着剤を 塗布してください。



6. 軒とい受け金具・軒とい 取付

【軒とい 単体用】 【軒とい 連棟用】をサイズに合わせてカットしてください。

※ カット寸法は、次ページ(9ページ)を参照してください。

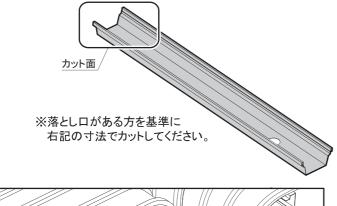
カットした【軒とい】を柱の間に通し、【軒とい幕板】の 隙間に差し込んでください。

【軒とい幕板】に開いている長丸穴の位置に、【軒とい受け金具】を取り付けます。

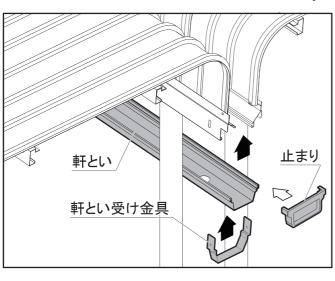
【軒とい】と【軒とい幕板】の間に【軒とい受け金具】の片側のツメを入れ、もう一方も同様に下から差し込み、 ネジで仮り止めしてください。 庫内から【軒とい】の高さを調節して本締めしてください。

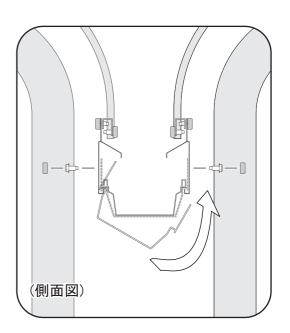
次にボルトの頭にボルトキャップN(SD)を取り付けてください。

【軒とい】連結部は、【軒継手】に接着剤を塗布し、【軒とい】にはめ込みます。 最後に、【止まり】の内側に接着剤を塗布し、【軒とい】の両端にはめ込みます。



	24V型	28V型
軒とい受け金具	N×3-	+2(ケ)
M6ボルト	N×6-	+4(本)
ポルトキャップN (SD)	N×6-	+4(本)

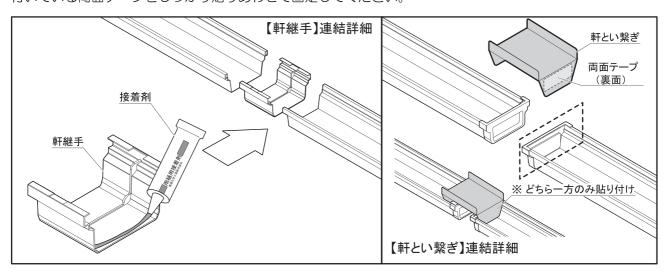




● 軒とい繋ぎ 取付

【軒とい】は3連棟毎に、【立とい】と【止まり】を取付けます(次ページ参照)。4連棟以上の場合は、 【軒とい繋ぎ】を使用して連結してください。

【軒とい繋ぎ】は【軒とい】端部に取り付けた【止まり】のどちらか一方の内側に【軒とい繋ぎ】の裏面に 付いている両面テープをしっかり貼りあわせて固定してください。



軒とい配置図(記載されている寸法は、軒とい本体の寸法となります。)

W2400

連棟数	○ 雨水落とし口 □ 軒継手 ☑ 止まり2ケ+軒とい繋ぎ
単体	2900(穴付) □ °
2連	3600(穴付) 1698
3連	3600(穴付) 3600 496
4連	3600(穴付) 3548 2900(穴付)
5連	3600(穴付) 3548 1698 3600(穴付)
6連	3600(穴付) 3548 496 3600 3600(穴付)
7連	3600(穴付) 3548 3600(穴付) 3548 2900(穴付)
8連	3600(穴付) 3548 3600(穴付) 3548 1698 3600(穴付)
9連	3600(穴付) 3548 3600(穴付) 3548 496 3600 3600(穴付)
10連	3600(穴付) 3548 3600(穴付) 3548 3600(穴付) 3548 2900(穴付)

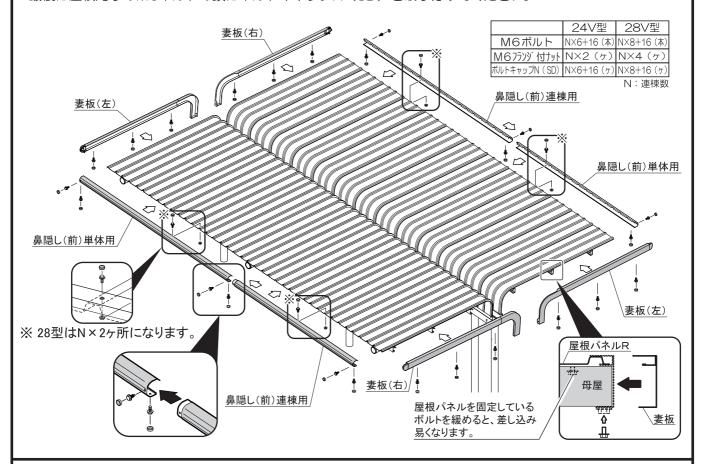
W2800

連棟数	○ 雨水落とし口 □ 軒継手	☑ 止まり2ケ+軒とい繋ぎ
単体	3300(穴付)	
2連	3600(穴付) 2498	
3連	3600(穴付) 1696	3600
4連	3600(穴付) 1146	3600 3300(穴付)
5連	3600(穴付) 1146	3600 2498 3600(穴付)
6連	3600(穴付) 1146	3600 3600 1696 3600(穴付)
7連	3600(穴付) 1146	3600 3600(穴付) 1146 3600 3300(穴付)
8連	3600(穴付) 1146	3600 3600(穴付) 1146 3600 2498 3600(穴付)
9連	3600(穴付) 1146	3600 3600(穴付) 1146 3600 3600 1696 3600(穴付)
10連	3600(穴付) 1146	3600 3600(穴付) 1146 3600 3600(穴付) 1146 3600 3300(穴付)

7. 妻板・鼻隠し(前) 取付

【妻板左·右】を【母屋】【屋根パネル】にかぶせるように差し込み、【母屋】にM6ボルトで固定します。次に【鼻隠し(前)単体用】を【屋根パネル】にかぶせ、【妻板 左】にM6ボルトで固定します。 【鼻隠し(前)連棟用】を差し込み連結部はM6ボルトで固定し、【妻板 右】にM6ボルトで固定します。 中間部はM6ボルトと M6フランジ付ナットで固定します。

最後に屋根周りのM6ボルトの頭にボルトキャップN(SD)を取り付けてください。



8. 雨とい 取付

下図を参考に雨といを取り付けます。(【 ϕ 60立とい】はカットが必要です。) 最後に、ボルトの締め忘れがないか確認し、【型式シール】を所定の位置に貼り付けてください。

